

全国科学博物館海外施設調査実施要項

1 目的

これからの博物館事業を支えていく主に若手職員に、海外の事例等を調査・研究する機会を提供するとともに、調査結果を公開し加盟館園の振興に寄与することを目的とする。

2 期間

調査研究期間は7～10日間程度とする。

3 調査内容

調査者自身や所属館における課題であるとともに、全国の科学系博物館共通の関心事項となりうるテーマ（運営、施設管理、展示、教育普及活動に関することなど）を各自で設定する。

4 応募条件

正会員である加盟館園の正規職員

5 募集人員

4名程度

6 調査研究派遣者

本調査研究の応募者は全国科学博物館協議会を通して、公益財団法人カメイ社会教育振興財団の募集する「(A)博物館学芸員等の内外研修に対する助成」への申請を行うこととし、原則として、採択された者について派遣を決定し、依頼することとする。

7 調査研究実施費用等

「博物館学芸員等の内外研修に対する助成」の助成上限20万円に、全国科学博物館協議会からの助成を合わせた40万円を上限として支給するものとする。原則として、助成額を超える部分は所属館または本人の負担とする。

8 調査研究の報告

帰国後、3ヶ月以内に全国科学博物館協議会を通して、公益財団法人カメイ社会教育振興財団に調査報告書を提出することとする。なお、同報告書は全科協ホームページにて公開する。また派遣者は翌年度の第1回全国科学博物館協議会総会において口頭での発表を行う。

9 その他

応募に関する詳細は、別紙、参加者募集要項による。